

## はじめに

# みんなに本をすすめたい！

みなさんがこれまで読んだ本の中に、お気に入りの一冊はありますか。感動したり、ワクワクしたり、ドキドキしたり、新しいことを知ったり……、そんな読書体験ができるお気に入りの本を、友だちにも読んでもらいたいとおもいませんか。

本の中には一つの世界があります。ページを開いて読み進めると出あうことができますが、読んでみないとけっして出あうことはできません。あなたのお気に入りの本とまだ出あえていない人に、その本を手にとってもらうにはどうしたらいいのでしょうか。

あなた自身がまず一冊の本の世界をよく知り、「本を読んで感じたこと」「その本が伝えたいこと」「手にとってみたいと思わせるアピールポイント」などを考えてみましょう。そして、その本がもつ魅力をいろいろな方法で表現し、みんなにとどけてみましょう。

この本では、「表紙作り」「帯作り」「ディスプレイ作り」をとりあげます。表紙や帯は、本の「顔」のようなものです。表紙ではイラストやデザイン、帯ではキャッチコピーなどで本の魅力を伝えます。ディスプレイでは、テーマに合った本を集めて、作った飾りと一っしょに自立つように展示します。

みんなで図書館活動 この本、おすすめします！

## ②自分だけの表紙・帯を作ろう

### もくじ

【はじめに】 みんなに本をすすめたい！ …… 2

表紙や帯はなんのためにあるの？ …… 4

表紙、帯作りの準備 …… 6

#### 表紙を作ろう

①表紙の作品を見てみよう …… 8

②台紙を作る …… 10

③絵と文字で表現する …… 12

④仕上げる …… 14

パソコンで作る表紙 …… 16

#### 帯を作ろう

①帯の作品を見てみよう …… 18

②キャッチコピー、紹介文を書く …… 20

③仕上げる …… 22

#### ディスプレイを作ろう

①本のディスプレイって？ …… 24

②テーマを決める …… 26

③デザインしよう …… 28

④飾りを作ろう …… 30



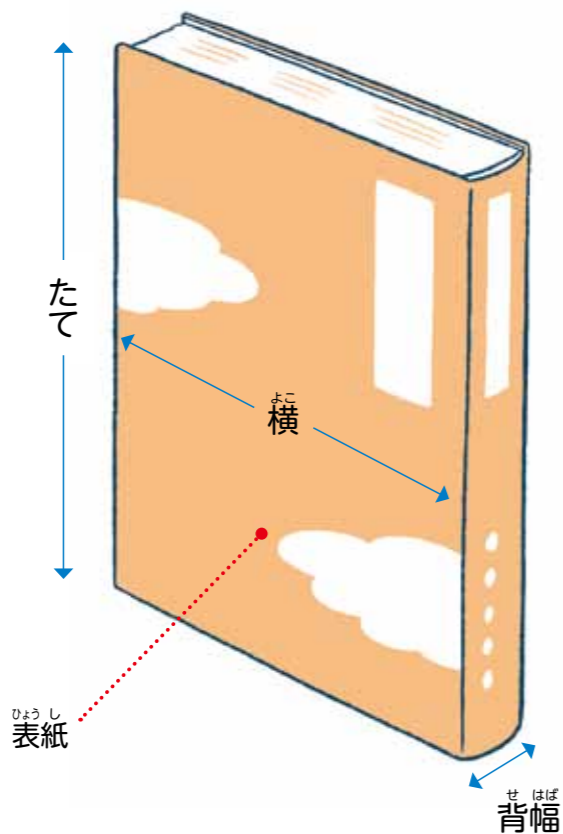
# ひょうし 表紙を作ろう

## ② だいし 台紙を作る

ひょうし どだい だいし つく 表紙の土台となる台紙を作っていきます。ほん おお 本の大きさはそれぞれ違うので、えら 選んだ本のサイズをせいかく 正確にはかることがたいせつ 大切です。したえよう 下絵用の台紙は何枚か作っておくとよいでしょう。ほんばんよう 本番用の台紙は後で作ります。

### ほん 本のサイズをはかる

えら 選んだ本の大きさははかりましょう。ひょうし 表紙のため、よこ 横の長さ、せびょうし 背表紙の幅（背幅）をじょうぎ 定規ではかっておきます。ひょうし 表紙とうらびょうし 裏表紙のいち 位置もかくにん 確認します。



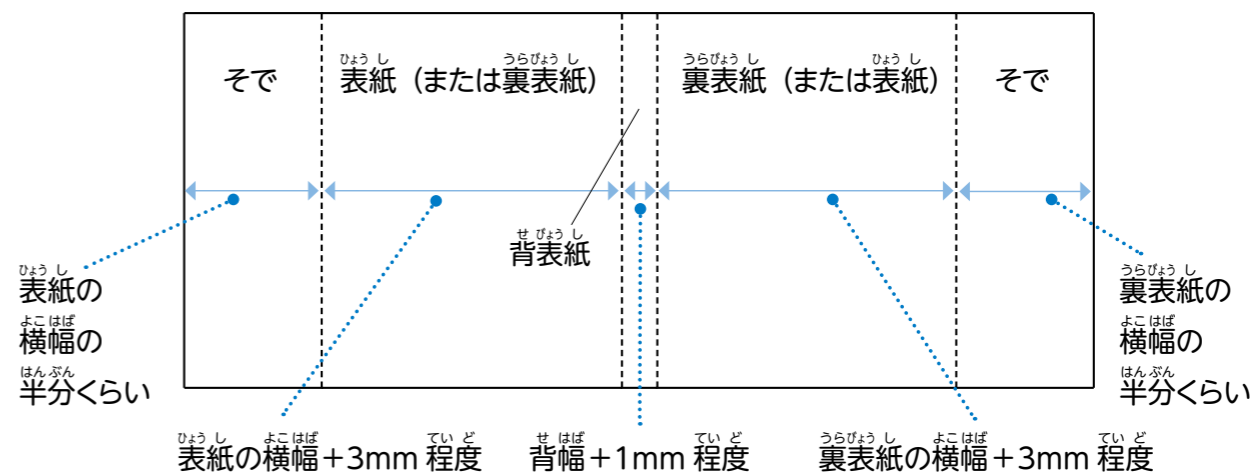
ぼくらがえら 選んだ本は、  
たて 148mm、  
よこ 横 105mm、  
せびょうし 背表紙 11mm だよ！  
ひだりがわ 左側がひょうし 表紙だね。



### だいし 台紙を作る

まず、したえよう 下絵用の台紙を作りましょう。  
したえよう 下絵用の紙に、はかっておいたほん 本のサイズにもとづいててんかいず 展開図を描きます。本にまくことをかんが えて、ひょうし 表紙・うらびょうし 裏表紙のよこはば 横幅にはそれぞれ3mm程度（ていど）のよぶん 余分をもたせませす

（ひょうし 表紙にあつ 厚みのあるハードカバーのほん 本なら5mm程度）。そではひょうし 表紙のよこはば 横幅の2分の1くらいのおお 大きさがあればよいでしょう。  
おお 大きな紙がない場合は、それぞれのパーツをはりあ 合わせませす。



ヒント

### よくあるほん 本のサイズ

ほん 本の大きさはだいたい右のように決まっています（出版社によってサイズは少し変わります）。  
しろくばん 四六判、きくばん 菊判は小説などのたんこうほん 単行本によくあるおお 大きさです。ひょうし 表紙のデザインだけでなく、ほん 本の大きさにも、それぞれのさく 品の個性があらわ 表れています。

ぶんこほん 文庫本	たて 148 ~ 152mm × よこ 横 105mm
しんしょ 新書	たて 173mm × よこ 横 105mm
コミックス	たて 174mm × よこ 横 112mm
たんこうほん 単行本 (四六判)	たて 188mm × よこ 横 127mm
(きくばん 菊判)	たて 220mm × よこ 横 150mm

## ② キャッチコピー、紹介文を書く

帯をまく目的は「この本、読んでみたいな」と思ってもらうことです。そのためにイラストやデザインで主張するものもありますが、ここでは本をおすすめするためのキャッチコピーと紹介文の書き方についてとり上げます。

### キャッチコピーを書く

キャッチコピーは、基本的に短い文章です。短いことで、かえって想像力をかきたてる効果があります。短歌や俳句は文字数が少ないにもかかわらず、詠まれた場面が豊かに思いうかびます。それと似ています。制作メモ (P.7) を利用してキャッチ

ピーを作りましょう。読んで感じたことや、印象的な場面、または本と出あったときの思いなどでもかまいません。一度書いてみて、それを短く、リズムのよい言い回しに置きかえてみるとよいでしょう。

### キャッチコピーのポイント

#### ① 気を引く

呼びかける、ハッとさせる言葉を使う

#### ② 共感を生む

自分の感情や行動を書く

#### ③ 必要な人に伝える

読んだらどんないいことがあるかを具体的に書く

「『走れメロス』のキャッチコピーを考えたよ！  
まじめな言葉づかいも  
いいけど、おしゃべりのような  
口調もありだね！」



● 人質が助からない!? ジャマ入りすぎ! ドキドキハラハラ

● ちゃんと走ってない? メロス、本気出して!

「えっ」と  
おもわせる表現だね。



● 「もう、やーめた」 メロスでも投げ出したくなる時がある!?

● どうして、そんなに走るのか!!

● マラソン大会に強くなる!?

● 命より大切なものがある

● はやく! 早く!! 速く!!!

● 30分で読める名作

具体的な数字で、  
すぐ読めることが  
わかるよ。

スピード感が  
出ているね!

● 歴史に残ったランナー

### 紹介文を作る

紹介文は、「本がどんな内容だったか」を友だちにかんたんに説明するつもりで書いてみましょう。帯のスペースは限られているので、100字程度を目安にしてください。

書く要素としては「あらすじ」「お気に入りの場面の紹介」「感想」「読む必要性」

などがあります。これらから一つ、または組み合わせて紹介文を書きましょう。「あらすじ」の場合は、物語全体について書かなくてもかまいません。「続きはどうなるんだろう?」と思わせるために、事件がはじまるところまでを書き、その後の展開はふせておくのが効果的です。